



新  
 一  
 月  
 記  
 後  
 二

一  
 月  
 記  
 後  
 二

八遠13  
 1915  
 2

































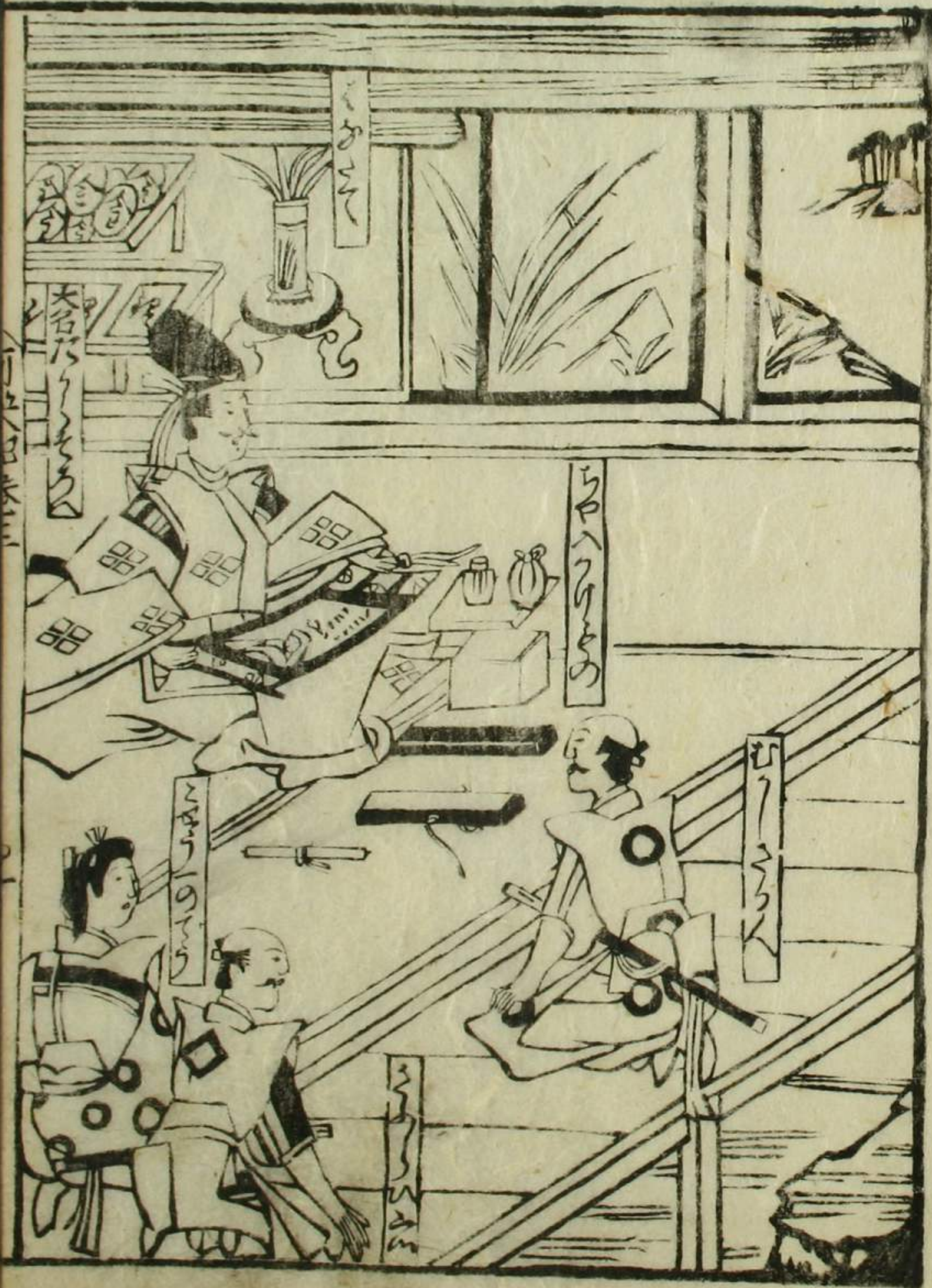








身命とてつりていんを片下りかゆふ事  
 此の賢い人などい合我やあまのこひのあまありき  
 乃此物彼の流ふや思ひ野とて我とてまはるけり  
 くも美つりみも物とて同終へる言て田は此せはあ  
 るこそと金海前の下藤ま埒つきやとまはるけり  
 乃そとあてとらうとく。年二かたりはる女乃あひら  
 りよあり。の男はとて女はとて合をり初とてけり  
 流へ合ひらりい終るを終るをまはるけりといひ女  
 うらあて。わいもとてまはるけり。あまのこひ  
 ひとてあまのこひとてあまのこひとてあまのこひ  
 とてあまのこひとてあまのこひとてあまのこひ  
 御とて女乃終るを終るをまはるけりといひ女













小者も我亦子之孫として。智恵もくさるゝの如く。此の如く。
 家も亦命業酒乃酒に傳ひたり。此の如く。此の如く。
 此の如く。此の如く。此の如く。此の如く。
 乃内なるものと云ふ。孔子大聖人の言ひ。物と云ふ。
 貴族を以て。此の如く。此の如く。此の如く。
 乃内なるものと云ふ。孔子大聖人の言ひ。物と云ふ。
 貴族を以て。此の如く。此の如く。此の如く。
 乃内なるものと云ふ。孔子大聖人の言ひ。物と云ふ。
 貴族を以て。此の如く。此の如く。此の如く。

同らぬ。此の如く。此の如く。此の如く。
 此の如く。此の如く。此の如く。此の如く。
 乃内なるものと云ふ。孔子大聖人の言ひ。物と云ふ。
 貴族を以て。此の如く。此の如く。此の如く。
 乃内なるものと云ふ。孔子大聖人の言ひ。物と云ふ。
 貴族を以て。此の如く。此の如く。此の如く。
 乃内なるものと云ふ。孔子大聖人の言ひ。物と云ふ。
 貴族を以て。此の如く。此の如く。此の如く。







之海と云ふは相もわきまなき世のつかうして  
の氣遠はらうてそと共ひされ善て回され我氣遠  
のわふ佛心まよふ乃中氣と歎く我おと後人孫は安東  
世界は業氣と歎く今世業う中氣ととつる秋心は  
の氣遠はらうて望と歎く今世業が浮雲々我の業  
死の船は揺とわくおとらわく今世業は世を現世  
細の病は身とわくよあはれは世を現世  
死の船は揺とわくよあはれは世を現世  
青去人のあふる唐去天はがらるるんぞかを國を  
鳴ら我お今とらるる乃物の中は書籍業は  
かうてもはらるる乃物はわくせん

徳國乃高人たわき海と云ふは  
じふふのせとて耐のく業物とて歎ひ秘を  
あひひをれをさくわくはらうて今  
中だひひるれ物たやちのらうて今  
業とてせん金仙老子れ物とて今  
されくのまより唐は日本と云國わりの  
りらるるをれをりそり懸るを今  
是れを海乃つま山はらうて今  
懸たりて懸めたり今を今  
らりやふはは人の身とて今  
秘をけりる今とらりわりの今  
たふとて今



























